

うらそえ腎腎プロジェクトってなあに？



地域保健担当理事 島尻 佳典

はじめに

浦添市医師会は浦添市と共同で浦添市 CKD・糖尿病性腎症重症化予防連携事業、通称「うらそえ腎腎プロジェクト」という事業を展開しております。これまでこのプロジェクトについて多くの会員の先生方に認識していただけるように講演会を行って参りましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延でそれらの会が開催されない状況が続いていました。まだまだ周知度が低いと思われるので、会報誌上をお借りしてプロジェクトの概要についてご説明し、各医療機関へのご理解を賜りたいと思います。

経緯

尿検査の異常が3ヶ月以上持続、もしくは腎機能を示す推定糸球体濾過量(eGFR、単位はml/min/1.73m²)が60を切る疾患をまとめて慢性腎臓病(CKD)と呼びます。20歳以上の日本人の約8人に1人がこのCKDと推定されており、新たな国民病と言われています。CKDが悪化して人工透析への移行が増えると各保険者(市町村)の負担が増えることが予想されます。そこで政府は、平成28年、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定し、腎疾患の増加に歯止めをかけようとするプロジェクトをはじめました。CKDの方を早めに腎臓病の専門医に紹介し、早い段階から治療することで、患者の健康を守り、人工透析にかかるお金を抑制するという大きな目標を掲げたプロジェクトです。

沖縄県医師会はこれを受けて各地区医師会の担当理事などを招集し、このプロジェクトについて通達しました。浦添市医師会は、平成29年9月7日、市内で開業されている腎臓専門医の先生方(みやざと内科クリニック、徳山クリニック、さくだ内科クリニック)、人工透析を行っている基幹病院(浦添総合病院、牧港中央病院、同仁病院)の先生方に集まって頂き、ワーキングチームを立ち上げました。医師会として会員並びに浦添市との連携がとれるようなコアとなる会です。代表世話人には腎臓内科専門医、みやざと内科クリニック院長 宮里 昌先生をお願いしました。10月11日には浦添市医師会の定例二水会で前浦添市医師会長の池村クリニック院長 池村 剛先生、浦添市福祉健康部健康づくり課課長 福原雅史氏、管理栄養士である崎原和子氏を交えて会員の先生方への説明会を開催しました。

ワーキングチームの最初の仕事は、浦添市の保健師・管理栄養士が特定健診を受けた方々のなかからCKD対象者を拾い上げたあと、腎臓内科専門医を受診するように促すシステムを構築することでした。多くは糖尿病性腎症が中心と考えられ、既にかかりつけの主治医を持っておられます。直接腎臓内科受診をお勧めすることも可能ですが、やはり一度は主治医を通す必要があります。かかりつけ医を飛び越して専門医への受診を促すことは、

主治医と患者さんの関係を損ねる恐れがあり、また主治医の立場を悪くする可能性もあります。患者さんによっては、「主治医は何も言わないのになぜあなたが言うの?」と保健師等を疑ったり、「自分の主治医は私の腎機能について知らないのでは?」という疑念が湧く恐れもあります。これら様々な問題点を解決し、かつ対象者が実際に腎臓専門医を受診したか一元的に把握できるようにする必要があります。そこで、ワーキングチームは他の地区医師会(那覇市医師会は通称 CKD48、中部地区医師会はちゅらまーみプロジェクト)を参考にかりつけ医と腎臓専門医、そして浦添市を結ぶ書式を作成しました(様式 1 参照)。

こうして平成 30 年 4 月から「うらそえ腎腎プロジェクト」の取組みが始動しています。その後、病期に応じて腎臓専門医と一緒に治療する二人主治医という体制も推進・導入され、かかりつけ医にとっては腎機能の悪化した患者さんを診察するプレッシャーがかなり軽減されるようになりました。さらに今年(令和 5 年)に入って、浦添市側からの提案をワーキングチームにおいて協議し、腎機能の状態を薬局などとも共有できるような CKD シールを作成しました。こうして多職種連携によりプロジェクトの幅を広げています(図参照)。

会員の先生方へのお願い

①紹介の流れについて(様式 1)

(ステップ1) 先生方により通院患者の腎機能を紹介基準と照らして合わせて確認します。また、特定健診を受けた結果が紹介基準に該当する方については、浦添市から腎臓内科の受診についてかかりつけ医と相談するよう促します。

(ステップ2) かかりつけの先生方は経過やご本人の状況にもよりますが、表を参考にして腎臓専門医の施設や診察日を確認してご紹介下さい。紹介状は各自の医療機関の形式でも問題ありません。

(ステップ3) 紹介後の治療方針についても先生方のご希望をチェックして下さい。紹介後、腎臓内科から主治医への返書と同時に、浦添市にも受診したことが報告され、行政側は実数の把握が可能になります。書式は浦添市健康づくり課のホームページ、うらそえ腎腎プロジェクト様式集からもダウンロードできます。

②CKD シールについて(図)

健診を受けた方には必要に応じてCKDシールが配られます。また、浦添市から内科および協力医(後述)にCKDシールが郵送されています。検査して得られた腎機能の数字を医療機関等で記録し、お薬手帳の見開きの裏側に貼付して下さい。他の医療機関や薬局と腎機能の情報が共有できると同時に、患者さんにもご自身の腎機能を知っていただくツールになります。腎機能の説明は実際の単位、点数、%など、運用しやすいようにお願いします。お薬手帳の見開き裏に貼れば、個人情報漏れることも避けられると考えています。

③登録医について(協力医リスト)

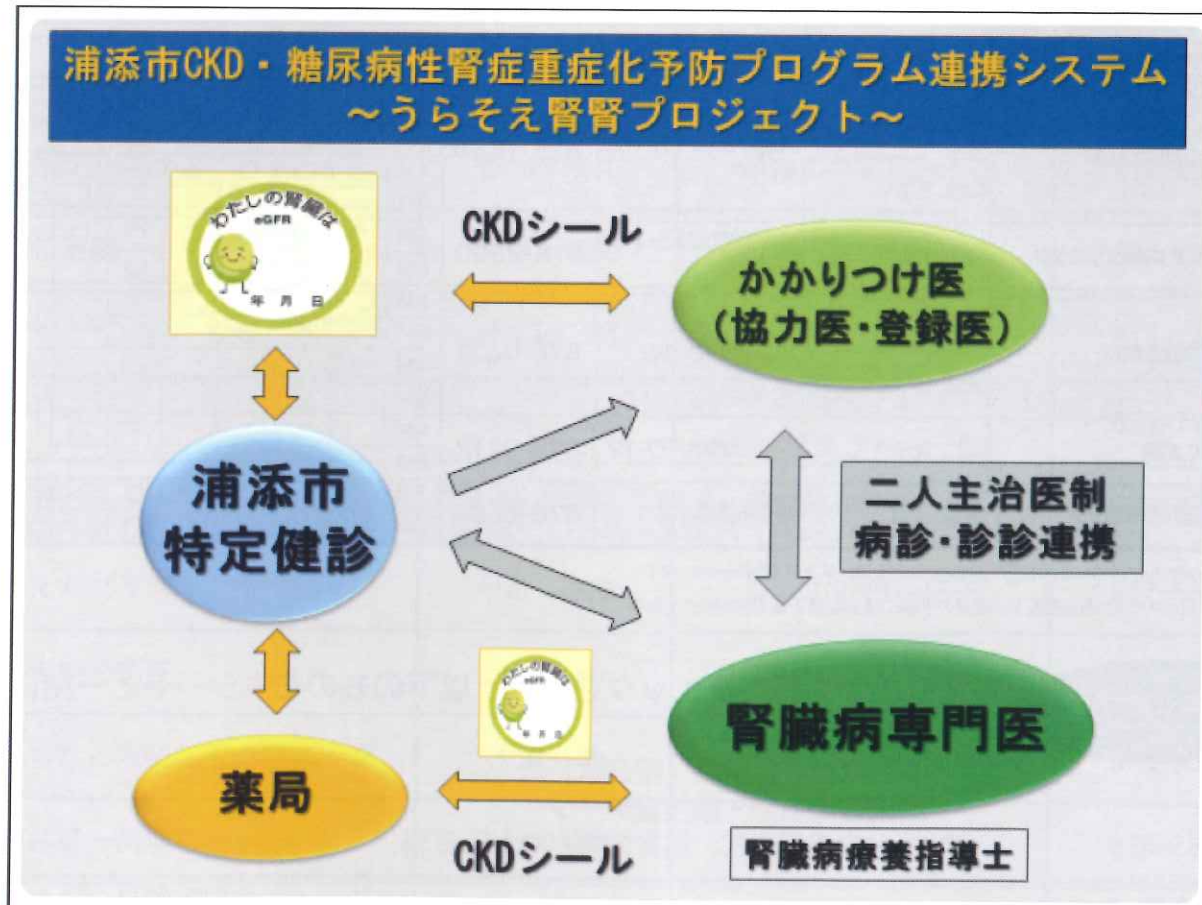
かかりつけ医のいない腎機能の低下した方の場合、保健師等が特定健診の結果から拾い上げたにも関わらず、どの医療機関に受診を勧めて良いか迷うことがあります。腎臓内科医の常勤する基幹病院である浦添総合病院の受診を希望しても紹介状が必要

になります。このような観点から、浦添市はこのプロジェクトに協力していただける先生方を協力医という形で登録し、ホームページ上で公開して紹介先を確保しております(令和4年9月現在15施設16名)。もう一つのメリットとして、かかりつけ医が協力医であると、患者さんは腎機能に関して相談しやすい環境になると思われま。協力医への登録をご希望される先生方は浦添市健康づくり課へお申込み下さい。

おわりに

浦添市健康づくり課によると現在浦添市で人工透析を受けている人数は約300～330人であり、年間約15～20億円かかっている計算です。しかし、令和3年の段階で新規に人工透析に移行する人数は緩やかに増加しつつも、ほぼ頭打ちになっているとの報告がありました。新しい薬の登場や透析施設の受け入れ人数の容量も考えられますが、地道な活動の成果なのかも知れません。

浦添市医師会はこれまで一市一医師会という特徴を活かし、行政との協力を進めて参りました。牧港中央病院理事長の洲鎌盛一先生が浦添市医師会長に就任し、あらためて定款に行政との一体化を謳っております。医師会と行政との連携がうまく行っているモデルとしてこのプロジェクトが大きな意味を持つものと思います。また、人工透析が減少することで患者さんの生活の質が改善し、医療費の逼迫が抑えられるのであれば、市民の皆様に誇れるプロジェクトになると期待しています。ご協力宜しくお願いします。



うらそえ腎腎プロジェクト図

浦添市CKD・糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム紹介シート

ステップ1

以下の紹介基準を満たしている場合、CKDの診断・治療について疑問がある場合、患者の意向をご確認の上、紹介して下さい

紹介基準

eGFR値による紹介基準 *eGFR値=ml/min/1.73m²

- ① 40歳未満 eGFR 60未満
- ② 40歳以上 eGFR 45未満
- ③ 3ヶ月以内に、30%以上のeGFRの低下

蛋白尿による紹介基準

- ④ 尿蛋白2+以上、または尿蛋白/尿Cr比0.5以上
- ⑤ 蛋白尿と血尿がともに陽性(1+以上)
- ⑥ 糖尿病がある場合は尿蛋白1+以上

ステップ2

以下の腎臓専門医へ紹介下さい

令和5年3月現在

No.	医療機関名	医師名	住所	TEL	診療日							予約	
					月	火	水	木	金	土			
1	みやざと内科クリニック	宮里 昌	浦添市宮城2-17-1	875-7000	AM	○	○	○	▲	○	○	不要	
					PM	○		○					
2	徳山クリニック	徳山 清之	浦添市牧港2-46-12 1F	942-1001	AM	○	○		▲	○	○	必要	
					PM	○			○	○		必要	
		知念 さおり			AM	○	○	○	▲			必要	
					PM			○					
3	さくだ内科クリニック	佐久田 朝功	浦添市経塚585-1 1F	878-2500	AM	○	○	○	○	○	○	不要	
					PM	○	○	○		○			
4	浦添総合病院	上地 正人	浦添市伊祖4-16-1	878-0231	AM							必要	
					PM		○	○				必要	
		宮里 昌 (非常勤)			AM							○	必要
					PM		○						
5	同仁病院	桑江 紀子	浦添市城間1-37-12	878-2212	AM						○	必要	
					PM								
6	名嘉村クリニック	井関 邦敏	浦添市伊祖4-2-1	870-6600	AM				○	○		不要	
					PM	○		○	○	○			

*みやざと内科クリニック宮里医師の木曜日(▲)は、第2・第4週のみとなります
 *徳山クリニック徳山医師、知念医師の木曜日(▲)は、第2・第4週のみとなります

ステップ3

紹介後の方針にチェックを入れ、以下のものを本シートと一緒に持たせてください

- ※ 診療情報提供書(紹介状)
- ※ 過去の血液・尿検査データ
- ※ お薬手帳など、処方内容がわかる資料

紹介後の方針 にチェックをお願いします。ただし、状況によってはご意向に添えない場合があります。

- 2人主治医制とし、可能な限り自院で診る
- 専門医の判断に任せる(転院も可)

浦添市CKD・糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム連携
協力医一覧

協力医とは、浦添市CKD・糖尿病性腎臓病腎症重症化予防プログラム連携システムに賛同し、浦添市と浦添市医師会の登録を受けた医師のことです。

令和4年9月現在

No.	医療機関名 (50音順)	医師名	所在地	電話番号
1	稲福内科医院	稲福 徹也	浦添市字経塚633	988-4557
2	浦西医院	仲間 清太郎	浦添市当山2-9-3	878-7070
3	かりまた内科医院	狩俣 陽一	浦添市内間4-23-21	878-5126
4		狩俣 洋介		
5	キンザー前クリニック	島尻 佳典	浦添市宮城1-29-1-1F	963-9010
6	幸喜内科 糖尿病・甲状腺クリニック	幸喜 毅	浦添市前田2-1517	878-8822
7	城間クリニック	城間 清剛	浦添市字前田564-1	878-8213
8	同仁病院	宮里 朝矩	浦添市城間1-37-12	876-2212
9	なかそね内科・循環器科	仲宗根 豊	浦添市内間4-1-2	874-1155
10	なしろハルンクリニック	名城 文雄	浦添市屋富祖3-34-2メディカルプラザたろう3階	877-7777
11	ひがハートクリニック	比嘉 耕一	浦添市港川2-23-2	875-4810
12	まえだクリニック	今山 裕康	浦添市前田1-48-8	917-5542
13	牧港中央病院	上地 洋一	浦添市字牧港1199	877-0575
14	まちなと内科在宅クリニック	大濱 篤	浦添市牧港2-46-8	875-8888
15	嶺井第一病院	田口 瑞希	浦添市字大平466	876-2312
16	みやぎ内科循環器科ファミリークリニック	宮城 淳	浦添市伊祖2-3-6-1	871-3088